



実践学習(PBL) の始め方

企業とのマッチング方法と
気を付けること

2022.7.15 Fri. 16:30 – 18:00
@中央図書館2階 グローバルスタジオ



Case Study 1 久富 健治 教授 (健康)

健康・スポーツ科学部での
実践授業の実施事例の紹介



Case Study 2 長谷川 裕紀 講師 (共通)

共通教育部での
実践授業の実施事例の紹介



Exchange of Opinions

事例紹介を受けて
参加者間での意見交換

企業とのwin-win関係性を築くには

企業や各種団体とタイアップをする上で、大学側の都合だけではなく、企業等にどのような「うま味」を持たせることができるかも重要な鍵となることが確認された。とりわけ、「若い女性の視点」はあらゆる企業が商品開発等に求める視点であり、学生の教育効果とタイアップ先のメリットに折り合いをつけることで、より充実した実践学習を行うことができる。

“武庫女ブランド”の強みを活かして

参加した教員からは、実践学習のための連携企業等を探す上で本学のブランド力が効果的に作用するとの意見が出された。今後、様々な学部・学科で実践学習を行う上での追い風となる一方で、連携企業等の調整から始める場合は教員の負担が大きいため、企業等とのコーディネート任せられる事務部門があれば、より円滑に実践授業が始められるのではないかという意見も出された。